

主流となるハイブリッド・マルチクラウド： 最も一般的なユースケース

昨今のワークロード展開をめぐる軌跡は、ハイブリッド・マルチクラウドに移行しています。ハイブリッド・マルチクラウドの展開によって、ITプロフェッショナルはオンプレミス型プライベートクラウドが持つセキュリティ、コントロール、性能を備えたパブリッククラウドサービスの最も良い点（リソースの拡張性と管理の簡素化）を使用できるようになります。

ハイブリッド・マルチクラウドの最も一般的なユースケースとは? 詳しく見てみましょう:

信頼できるディザスタリカバリ

企業は、障害やサービス停止からより迅速に復旧できる、高レベルなデータ保護を要求しています。ITが事業継続性とディザスタリカバリSLAを満たし、予算オーバーにならずに信頼できる成果を提供するには、プライマリデータセンターを超えて拡張する必要があります。

クラウドロックイン条件を伴わずに、習得・管理を要する新たなツールやテクノロジーのサイロを最小限に抑えることで、効率的にデプロイ可能なソリューションを見つけましょう。

オンデマンドなキャパシティのバーストと弾力性

ホリデーシーズンなど、ビジネスの需要が一時的に急増する場合、キャパシティプランニングは難しく高額になりがちです。多くの組織は、こうした需要の急増に対してデータセンターリソースを過剰プロビジョニングしてしまうため、過剰な資本支出、そしてキャパシティが十分に使用されない状況につながります。マネージドおよびパブリッククラウドを使用して、季節的なアクティビティに必要なリソースを処理しましょう。

開発/テスト、季節的なワークロード、新規アプリやサービス、リージョンのテストに対応できるよう、コンポーザブル環境をオンデマンドまたは自動でパブリッククラウドに高速バースト可能なソリューションを見つけましょう。

迅速なアプリケーション開発とモビリティ

既存のアプリケーションをマネージドまたはパブリッククラウドにロードすることは、一筋縄ではいかない場合があります。アプリケーションはアーキテクチャー上の調整を必要とする場合があり、これには時間がかかるほか、作業もなかなか進みません。

設備の刷新やリファクタリングの必要性を最小限に抑える、プライベートおよびパブリッククラウド間の共通の運用環境を使用することで、アプリケーションモビリティを実現するソリューションを検討しましょう。

今こそ、ワークロードの展開にハイブリッド・マルチクラウドソリューションがどのように役立つのか検証するべきです。ハイブリッド・マルチクラウドが可能にする柔軟性、俊敏性の向上、そして迅速な拡張性は、事業継続性を高め、アプリケーションマイグレーションのイニシアティブを広げて、3Tier、プライベート、およびパブリッククラウドにまたがるクラウドの展開を加速化できます。詳しくは、こちらをご覧ください:

www.nutanix.com/jp/solutions/hybrid-multicloud